



【海外作家賞】

マニット・スリワニチプーン氏
(タイ・バンコク市在住)

1961年タイ、バンコク生まれ。
84年シリナカリンウィロート大学視覚芸術学部卒。
代表作「ピンク・マン」シリーズは、詩人、アーティストである友人をモデルに、現代タイ社会に広まるコンシューマリズム(大量消費社会)への批評が込められています。



Pink Man Series 2002



Pink Man Series 2002



「Dr. Phillip Sharp A」
(生物学者・フィリップ・シャープ博士 DNAの構造のRNAつなぎ合わせにより、1993年にノーベル賞を受賞) 2003から



「After Electric Dress B」
(具体派作家・田中敦子の作品「電気服」1956に因る) 2001から



【国内作家賞】

杉浦邦恵氏(すぎうら・くにえ)
(米国・ニューヨーク市在住)

1942年愛知県生まれ。
67年シカゴ・インスティテュート・オブ・デザイン卒。B.F.A.を取得。
69年ジョージ・イーストマン・ハウス展「視覚と表現・現代写真」。
72年ホイットニー美術館「ホイットニー・アニュアル」に選出。ニューヨークを拠点に写真美術と写真領域にわたる作品を制作、国内外に活動を広げています。

決定！第23回東川賞 特別賞に旭川から初めて受賞者

国際写真フェスティバル「東川町フォト・フェスタ2007」のメイン事業として、世界で活躍している写真家の中から毎年選定する「第23回東川賞」4人の受賞者が決まりました。授賞式、レセプションは、7月28日町農村環境改善センターで行います。

海外作家賞はマニット・スリワニチプーン氏(45)が受賞しました。受賞対象作品は「ピンク・マン」シリーズ、「ブラック&ホワイト・バンコク」「イン・ユア・フェイス」など一連の作家活動。

国内作家賞には杉浦邦恵氏(65)。フォトグラムによる一連の作品制作が対象になりました。

新人賞は今岡昌子氏(41)。「リ・バース」、「天山南路」が対象になりました。

道内関係者が対象の特別賞は、旭川から山田博之氏

(34)が初めての受賞。作品「ロマンス」「残雪」シリーズの一連の活動が受賞対象になりました。

授賞式の後、文化ギャラリーを会場に、受賞者のテープカットで受賞作家作品展が開幕します(8月28日まで)。受賞作家を囲んで、創作活動の秘話などを聞く「ウェルカムコンサート&ギャラリートーク」も開きます。



【特別賞】

山田博之氏(やまだ・ひろゆき)
(旭川市在住)

1973年斜里郡小清水町生まれ。
92年道立旭川西高卒。
05年7月、旭川市内に自主経営のギャラリー「gallery ロマンス」(緑橋ビル)を開業。以来、自作の連続写真展「残雪」を発表している。

ギャラリーでは道内外の写真家たちの企画展を行っています。受賞作「ロマンス」「残雪」は、妻との出会い、旭川での日々のうつろいや生まれ故郷への旅を重ねてまとめたものです。



「ロマンス」(Romance) 2000



「残雪」(Remaining Snow) 2005から



「ナンを焼く稼業で生計を支える女性」カブール、アフガニスタン
「re・birth」(復活) 2002から



「金曜午後の祈り」カシュガル、中国
「天山南路」(Around the Taklamakan Desert) 2002から

【新人賞】

今岡昌子氏(いまおか・まさこ)
(東京都杉並区在住)

1965年横浜市生まれ。
99年からフリー写真家。
紛争や自然災害に苦しむ国々、復興のために立ち上がる人々の営みを見つめ、近年はアジア、イスラム圏を中心に取材活動を行っています。

